

なんだ・かんだ

◆ 不老不死 ◆

歴史上、不老不死への思いは非常に強いものがあります。秦の始皇帝も不老不死の妙薬を求めて各地へ人を派遣したと言います。近年この「不老不死」も夢の話ではなくなってきました。

2年ほど前にゲノム革命と言う題で、人間の遺伝子を操作し病気の元となる遺伝子をあらかじめ取り除くことにより、病気に罹らない体を作る。というような話をこのコラムに掲載しました。

今度は3Dプリンターで人間の臓器を部品の様に作り、壊れたら交換していくという話です。

我々が子供の頃見ていたアニメのサイボーグ009や、アメリカ映画のロボコップは、人間と機械が融合したものでちょっと違うかもしれませんが近いものがあると思います。ちなみにサイボーグとは、身体の各器官を人工物に置き換えた生き物のことを言うそうです。

先日の日経新聞に、複合コピー機のメーカーである「リコー」が、iPS細胞から育てた神経細胞を3Dプリンターで積層し、1~2時間で最大20層ほど積み重ねて、約1センチメートル角のサイコロ状の細胞の塊を実験室で作っているという話が掲載されていました。

この3Dプリンターの技術を使えば、細胞の塊を様々な形に変えたり、異なる細胞を混ぜ合わせたりできるそうで、将来は人間の臓器をつくり、病気やケガの治療に役立てようとしているのだそうです。

もともと、プリンターは文字や写真を印刷するために作られたものです。そして、ここ数年でメジャーになってきた「3D」プリンターは、ものづくりの現場で樹脂等を3次元の設計図やモデルとなるものを撮影することにより、設計図やモデルの通りに材料を積層して形を作り上げ、熱や光で硬化させて簡単に立体部品を作り出すことができる機械です。家一棟を3Dプリンターで作ってしまうという話もあります。

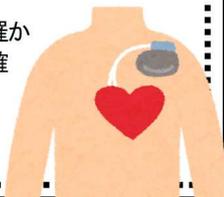
それが、臓器すらもつくれる時代がもうすぐそこに迫り、数十年後に臓器は家電や車の部品の様に工場で作れ出す「量産品」となって、衰えたり傷んだりした臓器を、スペア(予備)の臓器と取り換えることが出来るようになるかもしれません。

そうなれば、私たち人類は永遠に生き永らえ、不老不死の体を手に入れることになるかもしれません。

今までも、他人の臓器を移植するという医療があります。また、時間をかけて入れ変わってしまうものですが、輸血も他人の血液を移植する様なものです。IPS細胞もラボ(言い換えれば工場)で作った細胞を移植することにより壊れたパーツを再生するものです。

生体間移植とは異なる脳死などの倫理的問題はないかもしれませんが、これから量産された臓器が移植されることが当たり前になってきたときに人間はどこまで「自分」でいられるのか、「自分」と言えるのか? 「技術の進歩によって現代人が自問自答しなければならないテーマがまた1つ増えた。」と記事は結んでいました。

不老不死が良いかどうかは別として、不治の病に罹った人は、医学の進歩で特効薬や新たな医療技術が確立するのを心待ちにしています。出来るだけ早くいろいろな病気が治る、薬や医療技術が確立することを期待しています。



■ シゴトフェア(合同企業説明会) ■

求人のためにシゴトフェアに参加します。入場無料、入退場自由な就職・転職希望者のための合同企業説明会で、参加企業数は県内最大級です。各ブースにて参加企業の採用担当者に自由に話を聞くことができたり、応募を前提とした面談をすることができます。

日時: 11月3日(日) 11:00~17:00

場所: キラメッセ沼津

皆様の回りの方で、転職をお考えの方や新卒で就活をまだ終えていない方などいらっしゃいましたら是非お声がけをお願い致します。

台風19号

今月上陸した台風19号は信じられない被害を日本各地にもたらしました。15号の被害が冷めやらぬうちの出来事でした。

台風当日は休みの土曜日だったので、一日中天気予報で台風情報を見ていました。数日前から昭和33年の狩野川台風と同じようなコースをたどっているという情報もありましたが、私の家はその狩野川から100mも離れていない場所にあり方が一堤防が決壊したり、堤防から少し低い橋のたもとから川の水が溢水(堤防の無いところで川の水があふれたこと)でもしたら私の家はもちろん、沼津の市内は広範囲に冠水し多くの被害が出ているかと思えます。実際、ネットの定点カメラで映されていた川の水は多くの橋のたもとから溢水するまで1mもないように見えていました。上流にある長岡の放水路が無ければ狩野川は広範囲に渡り氾濫していたと思います。大事に至らなくて本当に良かったと思えます。

温暖化による自然災害の甚大化が言われてはいましたが、これほど早く現実のものになってくるとは思いもしませんでした。昨年は西日本に多くの被害が出ました。そして今年も東日本です。この様な災害が毎年日本を襲うのでしょうか?どのよう準備し対処すればよいか見当もつきません。

代表取締役 服部徹一郎

社員ブログ

● 台風19号 ● 建設部 松江和己

大型の台風19号が日本列島に上陸し、全国各地において被害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしております。また、被害に遭われた方の一日でも早い復興を祈念いたします。

さて、我が家も災害対策の備蓄品を非常時の為に備えていました。ニュースで沼津市が避難勧告の指定地域になったのを見て、避難所に避難するか、避難せずに自宅に留まるかを妻と話しをしました。結果、まだ3歳と1歳の子供を連れて、避難所での待機は難しいだろうと思い、自宅待機することとしました。

結果的には、自宅周辺に被害は無かった為問題はなかったのですが、もし被害に遭っていたら思うと避難所で待機していた方が良かったのだろうかと考えてしまいます。

日頃から家族で災害についてよく話しておくことが非常に大事なことだと改めて感じました。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/